

| No. | 名称 (●国宝、◎重文) | 所蔵 | 年代(図版典拠に従う) | カラー図版、〔モノクロ図版・論文など〕所在。☆は中野玄三『来迎図の』25頁 | 画中の肖像・人物像 |
|-----|------------------------|----------------|-------------|---|---------------------------------|
| 参1 | ◎阿弥陀聖衆来迎図 | 滋賀・浄厳院 | 11～12世紀:平安 | ☆9、須藤弘敏『阿弥陀聖衆来迎図』25頁 | 往生者の部分は破損。 |
| 参2 | ◎阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 滋賀・安楽律院 | 13世紀:鎌倉 | ☆19、『比叡山・高野山』、『大津の文化財』118頁 | 御簾の下から着物(袈裟)の端が見える。 |
| 参3 | ◎迎接曼荼羅図 | 京都・清涼寺 | 13世紀:鎌倉 | ☆4 | 合掌する手と衣。熊谷直実の伝承 |
| 参4 | 迎接曼荼羅 | メトロポリタン美術館 | 1300年頃:鎌倉 | [[『海外所在日本美術品調査報告1』7、『日本の美術272浄土図』65] | 清涼寺本写しか。 |
| 1 | ◎阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 福島県立博物館 | 鎌倉 | 奈良博『聖と隠者』32、京博『ヒューマン・イメージ』111、『日本美術全集8』114、『福島県立博物館紀要』2 | 臨終行儀を情景的に描く。 |
| 2 | ◎阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 滋賀・新知恩院 | 鎌倉 | ☆23、琵琶湖文化館『浄土教の世界』11、『大津市の文化財』90頁、龍谷『極楽へのいざない』63 | 武士(多田満仲の伝承) |
| 3 | ●阿弥陀二十五菩薩来迎図(早来迎) | 京都・知恩院 | 鎌倉後期 | ☆7、『図説日本の仏教4』178頁 | 僧。経机に八巻。香炉。 |
| 4 | 阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 滋賀・弘法寺 | 13世紀:鎌倉 | 奈良博『聖と隠者』33、『大津の文化財』117頁、大津市歴博『国宝への旅』89 | 僧。二人の頭が見えるが、片方は後補と思われる。帰りに来迎あり。 |
| 5 | 阿弥陀聖衆来迎図 | 神奈川・光明寺 | 鎌倉 | 金沢文庫『鎌倉大仏と阿弥陀信仰』1、埼玉歴民博『東国の地獄極楽』 | 僧 |
| 6 | 阿弥陀来迎図 | 奈良・大蔵寺→奈良国立博物館 | 14世紀:鎌倉 | 奈良博『女性と仏教』62、松濤美『SHIBUYAで仏教美術』31 | 僧と尼(夫婦か)。 |
| 7 | 阿弥陀聖衆来迎図 | 埼玉・勝願寺 | (鎌倉) | 埼玉歴民博『東国の地獄極楽』29、『日本の美術442中世の童子形』表紙裏 | 2人の往生者 |
| 8 | 阿弥陀聖衆来迎図(諸尊集会図と対) | 東京国立博物館 | 鎌倉 | [[『東京国立博物館図版目録・仏画篇』31] | 法体3名 |
| 9 | ◎四十九化仏阿弥陀来迎図 | 京都・光明寺 | 14世紀:鎌倉 | ☆21、奈良博『みほとけのかたち』41、『美術史133』石田淳 | 僧と背後に弟子2人(→下描き?) |
| 10 | 阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 福岡・善導寺 | 室町 | [[八代市博『極楽浄土の世界』19] | 僧? |
| 11 | 阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 奈良・池田興文 | | [[『日本の美術43浄土教画』82] | 僧? |
| 12 | 阿弥陀三尊二十五菩薩来迎図 | 奈良・金剛寺 | 鎌倉 | 奈良博『糸のみほとけ』102、『日本の美術43浄土教画』83、『日本の美術273来迎図』89、奈良博『繡仏』 | 僧?。弥陀の頭部などに繡髪を併用。 |
| 参5 | ◎阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 滋賀・聖衆来迎寺 | 13世紀:鎌倉 | 『大津の文化財』122頁、大津歴博『聖衆来迎寺と盛安寺』105頁参考、『清水善三『仏教美術史の研 | 簾中を見せず。 |
| 参6 | ◎阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 岡山・遍明院 | 鎌倉 | 岡山県博『港町牛窓』6 | 簾中を見せず。 |
| 参7 | 阿弥陀聖衆来迎図 | 京都・三千院 | | ☆17 | 往生者の位置に「立誓臨終正念」の墨書など。 |
| 13 | ◎釈迦阿弥陀来迎図 | 徳島・雲辺寺 | 14世紀:鎌倉 | ☆37、奈良博『女性と仏教』61 | 尼(斜め後ろからで顔を描かず?) |
| 14 | 釈迦阿弥陀来迎図 | 長野・瑠璃寺 | 15世紀:室町前期 | 飯田市美術博『瑠璃寺の秘宝』3、同『信州の祈りと美』15 | 僧形 |
| 15 | 阿弥陀三尊来迎図 | 兵庫・常楽寺 | 14世紀:鎌倉 | 奈良博『女性と仏教』165、龍谷『極楽へのいざない』53 | 俗体女性 |
| 16 | 阿弥陀六地藏十羅刹女像 | 京都・西寿寺 | 1307:徳治二年 | 奈良博『女性と仏教』166、京博『ヒューマン・イメージ』72 | 尼 |
| 17 | 阿弥陀三尊来迎図 | 奈良・興福院 | 室町初期 | 『奈良市の絵画』23 | 尼 |
| 18 | 阿弥陀三尊来迎図 | 東京芸術大学 | 13世紀:鎌倉 | 『東京芸術大学蔵品図録・絵画 I』25・26、東京芸大『よみがえる日本画』123頁 | 僧3人、尼5人。 |
| 19 | 阿弥陀三尊来迎図 | 大阪・大通寺 | 鎌倉 | 堺市博『大阪の仏教絵画』47 | 往生者、僧、女性。 |
| 20 | 阿弥陀三尊来迎図 | (個人) | 14世紀:南北朝 | 東博『美術の中のこどもたち』119 | 俗体少年 |
| 21 | 刺繡阿弥陀三尊来迎図 | 京都・大雲院 | 室町 | 奈良博『糸のみほとけ』82、『奈良博『繡仏』73、『文化財集中地区特別総合調査報告20京都市の文化財』238頁] | 3人の往生者 |
| 22 | 刺繡阿弥陀三尊来迎図 | 個人 | 14世紀:鎌倉 | 奈良博『女性と仏教』184、『奈良博『繡仏』74] | 俗体女性 |
| 参8 | 刺繡阿弥陀三尊来迎図 | 細見亮市 | 室町 | [[奈良博『繡仏』74の参考図] | 往生者の位置に「比丘尼 阿弥陀仏」と文字の |
| 23 | 刺繡阿弥陀三尊来迎図 | 奈良・高林寺 | 室町 | [[奈良博『繡仏』75] | 僧か。 |
| 24 | 刺繡阿弥陀三尊来迎図 | 福島・阿弥陀寺 | 室町 | 奈良博『糸のみほとけ』88、『奈良博『繡仏』76] | 僧 |
| 25 | 刺繡阿弥陀如来像 | 稲岡松五郎 | 室町 | [[奈良博『繡仏』101] | 俗体女性。 |
| 26 | 刺繡阿弥陀三尊来迎図 | 奈良・中宮寺 | 15世紀:室町 | 奈良博『女性と仏教』187、奈良博『糸のみほとけ』83 | 尼 |
| 27 | 帰来迎図 | 香雪美術館 | 14世紀 | ☆8、『日本の美術273来迎図』61] | 雲に乗り浄土へ向う僧3名。 |
| 28 | ◎弥勒来迎図 | 東京芸術大学 | 鎌倉 | ☆45、『東京芸術大学蔵品図録・絵画 I』23・24、金沢文庫『雲にのる神仏』20、『MUSEUM542』吉村稔子 | 僧(背後の如来に摩頂される) |
| 参9 | 阿弥陀仏現前図 | 茨城・月崇寺 | | [[『日本の美術273来迎図』22] | 屋形内に人物? |
| 参10 | 山越阿弥陀図 | ベルリン東洋美術館 | 14世紀:鎌倉 | [[『ベルリン東洋美術館名品展』125、『日本の美術273来迎図』94] | 簾中を見せず。 |
| 参11 | 山越阿弥陀図 | 滋賀・西教寺 | 南北朝～室町 | 八代市博『極楽浄土の世界』18、大津市歴博『西教寺名宝展』13、龍谷『極楽へのいざない』80 | 往生者の位置に金泥で「為春窓慶芳大姉安置」の文字。 |
| 29 | 阿弥陀浄土変相図 | 埼玉・常光院 | 13世紀中頃:鎌倉 | 奈良博『女性と仏教』164、『宮島新一『肖像画』、『日本の美術384女性の肖像』45] | 夫婦2組。烏帽子・直垂。尼。中条常光夫妻等の伝。追筆説あり。 |
| 30 | 阿弥陀三尊来迎図 | 東京国立博物館 | 14世紀:南北朝 | [[『東京国立博物館図版目録・仏画篇』29] | 下方に雲に乗る僧2名。 |
| 31 | ◎春日若宮影向図(金剛般若波羅蜜多經見返絵) | 大東急記念文庫 | 1273:文永十年 | [[『日本の美術274垂迹画』表紙裏、東博『美術の中のこどもたち』167、『日本の美術442中世の童子形』8] | 僧。経玄の夢に現れる。 |

| | | | | | |
|---------|-------------------|---------------------|-----------------|--|--|
| 参 12 | ◎春日浄土曼荼羅 | 奈良・能満院 | 鎌倉 | ☆51、奈良博『春日信仰の美術』28 | 蓮池に法体数名と地蔵に従う僧。 |
| 32 | ◎熊野権現影向図 | 京都・檀王法林寺 | 1329:元徳元年 | 奈良博『女性と仏教』78 | 名取尼の伝承。肖像というより説話的。近藤喜博『仏教芸術32』 |
| 33 | 熊野権現影向図 | 神奈川・正念寺 | 室町 | 金沢文庫『雲にのる神仏』46、〔『神奈川県文化財図鑑・絵画篇』231〕 | 右に行者一人、左に僧2・尼1・俗人女性2。うち4名に金泥銘あり。 |
| 34 | 熊野本地仏曼荼羅図 | 山口・国分寺 | 14世紀:鎌倉 | 大阪市美ほか『祈りの道』214 | 僧(僧綱襟)。高欄下の白砂地に役行者と対になって。 |
| 35 | 熊野本地仏曼荼羅図 | 滋賀・西教寺 | 南北朝 | 大阪市美ほか『祈りの道』216、大津市歴博『西教寺と天台真盛宗の秘宝』84、『日本の美術442中世の童子形』16 | 修験者。高欄下の霰砂地に座す。 |
| 36 | 伝・熊野権現影向図 | 滋賀・高宮寺 | 室町 | 『時衆の美術と文芸』7、大阪市美ほか『祈りの道』211 | 修験者 |
| 37 | 役行者像 | 奈良国立博物館(個人) | 14世紀:南北朝 | 奈良博『聖と隠者』15 | 修験者 |
| 38 | 日光瀧尾権現曼荼羅図 | | 14世紀:南北朝 | 大阪市美ほか『役行者と修験道の世界』204、東博『美術の中のこどもたち』168 | 稚児 |
| 39 | 夜叉姫感得地蔵菩薩像 | 岐阜・神護寺 | 15世紀:室町 | 東博『美術の中のこどもたち』144 | 俗体少女 |
| 40 | ◎仏涅槃図 | 兵庫県立歴博 | 13世紀:鎌倉 | 奈良博『女性と仏教』161 | 老女か?★本文では除外:参考へ |
| 41 | ◎仏涅槃図 | 愛知・甚目寺 | 14世紀:鎌倉 | 奈良博『女性と仏教』162、『愛知県史・絵画』6 | 尼「施入檀那」 |
| 42 | 仏涅槃図 | 愛知・無量光院 | 1368:貞治七年 | 奈良博『女性と仏教』163、『愛知県史・絵画』6 | 尼。了阿弥陀仏(裏書写)。甚目寺本を転写 |
| 43 | 仏涅槃図 | 幽玄齋 | 鎌倉 | 富山美『仏教絵画』29 | 檀正面右下に合掌する尼。 |
| 44 | 仏涅槃図 | 藤田美術館 | 鎌倉後期 | なし? | 老女の短冊形に「老女霊□□□」とあり。 |
| 45 | ◎十界図(阿弥陀幅) | 京都・禅林寺 | 13世紀:鎌倉 | 立山博『地獄遊覧』7 | 僧。阿弥陀の左下。 |
| 46 | 諸尊集会図(阿弥陀聖衆来迎図と対) | 東京国立博物館 | 鎌倉 | 百橋明穂『仏教美術史論』、『東京国立博物館図版目録・仏画篇』10 | 狩衣の人物、読経する僧、聴聞する僧尼多数。 |
| 47 | ◎丑神像(十二神将像のうち) | 神奈川・称名寺 | 鎌倉後期~末期 | 金沢文庫『十二神将』7-12 | 白い被衣で合掌する女性。あるいは特殊な眷 |
| 48 | 聖徳太子摂政像・四天王像 | 奈良・法隆寺 | 14世紀:南北朝 | 大阪市美ほか『聖徳太子展』147 | 下部に狩衣・烏帽子の俗人。調子丸や秦河勝との説あり。 |
| 49 | 善導大師像 | 岩手・(北上市) | 1416:応永二十三年 | 〔『日本の美術384女性の肖像』48〕 | 下方の上置に6人。法名不明居士、祖父道仙禅門・祖母道祐禅尼・先考道清禅門・先妣聖森禅尼、童子。 |
| 50 | 他阿上人真教像 | 滋賀・高宮寺 | 室町、〔14世紀後半:南北朝〕 | 『時衆の美術と文芸』119、『美学198』高木文恵 | 蓮池に法体と烏帽子・墨染衣。開山切阿・大檀那高宮宗忠。 |
| 51 | ◎日蓮聖人像 | 静岡・妙法華寺 | 14世紀:鎌倉 | 東博『大日蓮展』4 | 俗体男女。法名法蓮、蓮華比丘尼。曾谷教信夫妻。奥に釈迦四菩薩像の画中画。 |
| 52 | 絵曼荼羅図 | 京都・法華寺(北野) | 1357:延文二年 | 東博『大日蓮展』57 | 下部の上置に僧・尼。貞妙に授与。 |
| 53 | 宝塔絵曼荼羅 | 広島・妙政寺 | 16世紀:室町 | 東博『大日蓮展』89、『日本の美術385武家の肖像』 | 下部に俗体男女 |
| 54 | 宝塔絵曼荼羅 | 京都・個人 | | (同上解説中) | |
| 55 | 宝塔絵曼荼羅(法華経曼荼羅図) | 愛知・円頓寺 | 1568:永禄十一年 | 宮島新一『長谷川等伯』口絵1、〔宮島新一『肖像画の視線』43〕 | 日承・日恵、俗体男女(=く直+心)祐・兆桂) |
| 56 | 鬼子母神十羅刹女像 | 富山・妙伝寺 | 1571:元亀二年 | 東博『大日蓮展』83、『MUSEUM581』松嶋雅人 | 俗体女性。長谷川等伯筆。 |
| 57 | 阿弥陀来迎図 | 岩手・本誓寺 | 南北朝/室町 | 『真宗重宝聚英3』19、〔『日本の美術384女性の肖像』23頁文中〕 | 下部の上置に法体男女。 |
| 58 | 阿弥陀来迎図 | 三重・専修寺 | 室町 | 『真宗重宝聚英3』17、〔『日本の美術384女性の肖像』46〕 | 下部の上置に法体男女。肖像の比率大。 |
| 59 | 阿弥陀来迎図 | 愛知・西方寺 | 室町 | 『真宗重宝聚英3』18 | 下部に脇侍のごとく僧二人。画面切り詰め。 |
| 60 | 六字名号 | 福島・善性寺 | 15世紀:室町 | 東博『西本願寺展』67 | 師弟の僧二人。 |
| 61 | 十字名号 | 宮城・称念寺 | 16世紀:室町 | 東博『西本願寺展』68 | 僧二人。了道・円覚。 |
| 62 | 刺繍種字阿弥陀三尊図 | 京都・天性寺 | 室町 | 〔奈良博『繡仏』95〕 | 下部の上置に女性。 |
| 63 | 刺繍種字阿弥陀三尊図 | MIHO MUSEUM(←藪本荘五郎) | 室町 | 琵琶湖文化館『女性と祈り』47、〔奈良博『繡仏』96〕 | 下部の上置に向き合う俗体男女。 |
| 64 | ◎刺繍阿弥陀三尊来迎図 | 滋賀・宝厳寺 | 13~14世紀:鎌倉 | 奈良博『女性と仏教』185、奈良博『糸のみほとけ』85 | 下部別区画の蓮池に対面する俗体女性と尼。 |
| 65 | 普賢菩薩十羅刹女像 | 東京芸術大学 | 13~14世紀 | 『東京芸術大学蔵品図録・絵画 I』27・28、東京芸大『よみがえる日本画』127頁 | 描表装の下部に法華経講讃の場面。12人の僧侶と聴聞する僧俗、発願者らしい夫婦(完成後の追筆か)。 |
| 66 | 聖徳太子絵伝 | 茨城・光照寺 | 室町中期 | 『真宗重宝聚英8』71 | 下部別区画に男女(夫婦か)二組。人名注記あり。勝鬘講讃図に二歳・十二歳像を加えた図様。 |
| 67 | まいりの仏用具 | 岩手・個人 | 1545:天文十四年 | 長野市博『善光寺信仰と北信濃』63 | 下部別区画に夫婦。善光寺参詣曼荼羅の地方的展開。 |
| 68 | 阿弥陀三尊来迎図 | 滋賀・聖衆来迎寺 | 室町後期 | 琵琶湖文化館『女性と祈り』46、大津歴博『聖衆来迎寺と盛安寺』98、〔琵琶湖文化館『聖衆来迎寺』8〕 | 往生者の位置に、上置に比丘・比丘尼、その下にも上置に武士 |
| 69 | 阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 香川・来迎寺 | 鎌倉 | 『讃岐の名宝』298 | 屋形内に人物? |
| 70 | 阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 福岡市博物館 | 13世紀:鎌倉 | 『福岡市博物館名品図録』56、『MUSEUM522』伊藤信二 | 屋形内に法体の往生者、背後に男女3名 |
| 71 | 阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 愛知・勝鬘皇寺 | 16世紀:室町 | 岡崎市美博『再発見岡崎の文化財』18、岡崎市美博『三河浄土宗寺院の名宝』92、『愛知県史・絵画』96〔『新編岡崎市史 美術工芸』絵99〕 | 屋形内に比丘(蓮花形の柄香炉)・比丘尼(合掌) |
| 72 | 阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 愛知・法蔵寺 | 16世紀:室町 | 〔『新編岡崎市史 美術工芸』絵99〕 | 屋形内に比丘? |
| 73 | 阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 福岡・善導寺 | 室町 | 〔九州歴史資料館『筑後大本山善導寺目録』21〕 | 屋形内に法体2名? |
| 74 | 刺繍阿弥陀三尊来迎図 | 東京・個人 | 室町 | 〔『日本の美術470繡仏』表1-4〕 | 法体 |
| 75 | 刺繍阿弥陀三尊来迎図 | 滋賀・唯称寺 | 室町 | 琵琶湖文化館『女性と祈り』44、〔『日本の美術470繡仏』表1-7〕 | 比丘尼 |

| | | | | | |
|-----|--------------------------|------------------|---------------|--|---|
| 76 | 刺繍阿弥陀三尊来迎図 | 京都・個人 | 室町 | 龍谷『極楽へのいざない』56、奈良博『糸のみほとけ』87、(『日本の美術470繡仏』表1-14) | 往生者(女性)。髪繡。 |
| 77 | 刺繍阿弥陀三尊来迎図 | 和歌山・正智院 | 室町 | 奈良博『糸のみほとけ』86、〔高野山霊宝館『高野山正智院の歴史と美術』14〕(『日本の美術470繡仏』) | 法体 |
| 78 | 刺繍阿弥陀三尊来迎図 | 福岡・善導寺 | 室町 | [九州歴史資料館『筑後大本山善導寺目録』23](『日本の美術470繡仏』表1-22) | 往生者(比丘尼?)2名 |
| 参13 | 刺繍阿弥陀独尊来迎図 | 福岡・善導寺 | 江戸 | [九州歴史資料館『筑後大本山善導寺目録』24] | 屋形内に女性。明暦三年と法名の銘あり。 |
| 79 | 仏涅槃図 | 奈良・元興寺町 | 南北朝末~室町前期 | [『涅槃会の研究』68] | 文机を前にして経巻を捧げた僧侶と従者。 |
| 参14 | 仏涅槃図 | 大分・蓮華寺 | 南北朝 | 大分市歴史『おおいたの遺宝』1、[『涅槃会の研究』23] | 会衆の僧侶のひとりを願主と解釈する説がある。 |
| 参15 | 仏涅槃図 | 奈良・西波多 | 江戸 | [『涅槃会の研究』134] | 画面外の左右下隅に夫婦像。 |
| 参16 | 仏涅槃図 | 愛知・大樹寺 | 18世紀:江戸 | 岡崎市美博『三河浄土宗寺院の名宝』47、[『新編岡崎市史 美術工芸』絵133] | 会衆に「泰孝」と短冊形のある道服姿の男性。松平信忠(1481~1531)とされるが、後世の写しという。 |
| 参17 | 血の池観音図 | 愛知・満性寺 | 16世紀:室町末~桃山 | 松濤美『中世庶民信仰の絵画』31、[『愛知県史・絵画』111、[『新編岡崎市史 美術工芸』絵69] | 蓮華上の俗体女性、合掌。 |
| 参18 | ◎吉祥天曼荼羅 | MOA美術館(東寺旧蔵) | 鎌倉 | サントリー美『女神たちの日本』25 | 画面下の蓮池に、床座に座して香炉を捧げ持つ僧侶 |
| 80 | 木造厨子(阿弥陀二十五菩薩来迎図) | 滋賀・延暦寺 | 室町 | 『大津の文化財』269頁(ただし当該部は見えず) | 扉に屋形内の比丘尼。奥壁の下に上畳に座す僧尼5名(短冊の文字なし)、朱で「権大僧都聖真逆修」とあり。 |
| 81 | 千手観音来迎図 | 個人 | 13世紀:鎌倉 | 奈良博『神仏習合』115 | 合掌して坐す烏帽子狩衣姿の人物(円相内) |
| 参19 | 釈迦説法図 | 宮城・瑞巖寺 | 室町[江戸?] | 仙台市博『武家と禅』19 | 右下隅に椅子に坐す禅僧、左下隅の上畳に束帯姿。 |
| 参20 | 仏涅槃図 | 富山・恩光寺 | 江戸初期 | 高岡市博『涅槃』10 | 右下隅に袈裟、左下隅に打掛姿。寛文9年奉納裏書。父母か。 |
| 82 | 五百羅漢図(伝明兆筆) | 神奈川・円覚寺 | 室町 | 神奈川県歴博『宋元仏画』47 | 羅漢のなかに多数の実在人物半身像を加える。一休らきし像も。図録梅沢論文。 |
| 83 | 弁才天十五童子像 | 奈良・薬師寺 | 室町 | [サントリー美『女神たちの日本』] | 弁才天の岩座上に小さく僧か。 |
| 84 | 諸仏集会図 | 奈良・法隆寺 | 鎌倉 | [『法隆寺の至宝6』75] | 下部に阿弥陀三尊来迎を配し、屋形内に尼僧。265頁に赤外線写真 |
| 85 | 阿弥陀三尊来迎図 | 奈良・法隆寺 | 南北朝 | [『法隆寺の至宝6』99] | 屋形内に合掌法体2名 |
| 86 | 刺繍遣迎二尊図 | 兵庫・村山家 | 鎌倉 | [『玄庵鑑賞』84] | 屋形内に3名(俗体男性2・女性1か) |
| 参21 | 世継観世音菩薩像 | 本光院 | 室町(16世紀) | 東京芸大美『尼門跡寺院の世界』100 | 集団肖像画。糸を持つ。 |
| 87 | 阿弥陀三尊来迎繡仏 | ボストン美術館 | 15~16世紀:室町 | [『ボストン美術館日本美術調査報告第一次』Ⅲ1] | 屋形内に法体夫婦? |
| 参22 | 諸阿弥陀来迎図 | ボストン美術館 | 17世紀:江戸 | [『ボストン美術館日本美術調査報告第一次』I 215] | 説話画的 |
| 88 | 阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 個人(古美術祥雲) | 13末~14初:鎌倉 | 古美術祥雲『仏教美術2』34/35p | 屋形内に法体合掌1名 |
| 89 | ◎釈迦三尊像(仁王会本尊) | 西大寺 | 13世紀:鎌倉 | 奈良博『興正菩薩観尊』35p、内田啓一『文観房弘真と美術』参照。 | 右下の比丘は観尊か。面貌表現が類似。 |
| 90 | 春日地蔵曼荼羅 | 個人→奈良博 | 14世紀:鎌倉 | 奈良博『おん祭と春日信仰の美術』2010年版37、奈良博・金沢文庫『解脱上人貞慶』90 | 脇に烏帽子直衣の男性。顔料で塗りつぶし。 |
| 91 | 十一面観音二十五菩薩来迎弘法大師・高野四所明神像 | 愛知・圓福寺 岡山・安養寺 | 16世紀:室町? | 『愛知県史・絵画』102 [岡山県博研究報告17]55頁図6 | 下部に僧(合掌)、短冊形「貴鎮(力)上人」。円相に持剣の大師像、その向かって右下に束帯姿の人物。 |
| 参23 | ◎法華経曼荼羅 | 奈良・海住山寺 | 13世紀:鎌倉 | 奈良博・金沢文庫『解脱上人貞慶』60 | 解説に、霊鷲山説法を正面で聴聞する僧一人を貞慶の可能性ありとする。 |
| 92 | 阿弥陀三尊来迎図 | 滋賀・光明寺 | 13~14世紀:鎌倉 | 大津歴博『阿弥陀さま』56、龍谷『極楽へのいざない』52 | 観音が跪いて持つ蓮台の上に、合掌する人物が座す。女性か。 |
| 参24 | 阿弥陀二十五菩薩来迎図 | 滋賀・正福寺 | 江戸 | 龍谷『極楽へのいざない』54 | 右下屋形(屋根なく畳・縁のみ)に法体男性2名(白短冊あり)・法体女性1名。観音開きに板貼三幅、五色糸あり。 |
| 93 | 仏涅槃図 | 京都・西念寺 | 12世紀:平安 | 『仏教芸術』309大原嘉豊 | 下辺人物のうちに黒衣合掌僧形。本図施主か。 |
| 94 | 六字名号 | 日本民藝館 | 室町時代 | 遊行寺ほか『国宝一遍聖絵』147頁、日本民藝館『仏教絵画』18 | 賦算する一遍に対し、合掌して座す僧形。 |
| 95 | 阿弥陀三尊来迎図 | 京都・専念寺 | 室町時代 | [『南山城地区の文化財』32頁] | 室内に往生者。明暦元年(1655)専阿の裏書に、もと洛東一心院の什物で、多田満仲筆による自身の姿とす。 |
| 96 | 阿弥陀三尊来迎図 | 奈良・光慶寺 | 13~14世紀:鎌倉 | 奈良博『糸のみほとけ』91 | 尼か。 |
| 参25 | 阿弥陀聖衆来迎図 | 兵庫・大乘寺 | 14[13?]世紀末:鎌倉 | 『大乘寺文化財調査報告書1』9 | 右下に屋形。御簾を垂らし往生者は見えず。 |